

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新枚方市医師会館建替	階数	地上4F
建設地	大阪府枚方市禁野本町	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	450人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,030時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2020年2月25日
敷地面積	2,491㎡	作成者	清 かおり
建築面積	793㎡	確認日	2020年2月26日
延床面積	2,733㎡	確認者	深尾 元詞



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 92% (126 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 92% (126 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 92% (126 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	3.3
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	2.8
耐用性	3.1
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.3
地域環境	3.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	救急医療や災害活動の拠点となる場であるためシンボリックな外観デザインを行いました。外構計画では接道部及び境界線沿いには植栽を計画し、緑を多く確保し、景観および環境へ配慮を行いました。また、ガラス種別選定に際しても各方位の日射量に合わせた選定を行い環境負荷低減へ配慮しています。	その他 特になし。
Q1 室内環境	化学汚染物質について、内装材には全面的に規制対象外、告示対象外の建材を採用しています。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り外構緑化に努め良好な室外環境になるよう配慮しています。
LR1 エネルギー	高効率設備機器を採用し省エネルギーに配慮しています。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量削減に配慮しています。
Q2 サービス性能	更新必要間隔の長い内装材、配管材料を採用し建物耐用性に配慮するとともに、空間にゆとりを持たせた計画としています。	
LR2 資源・マテリアル	節水機器、リサイクル材の採用により省資源に配慮しています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0170

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)新枚方市医師会館建替						
	建設地	大阪府枚方市禁野本町						
	用途/区分	事務所 集会所 病院						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.3	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.5	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							